

# 平成青木時報

2013年(平成25年)10月1日 第4号 発行：平成青木時報編集部

## 村長に聞く！村のこれから

8月28日、北村政夫村長と、編集部員の対談が実現した。村長に就任されて約5ヶ月。責任を背負う大変な役目だが、日々が楽しく、充実してやりがいがあるそうだ。故郷へ恩返しできる立場に選んでいただけてありがたいと、熱くお話ししていただいた。

### ○国道143号線新トンネルバイパス事業について

今のくねくねした143号線をまっすぐの道にして、新しく大きなトンネルをつくるという。これにより、今より15分移動時間が短縮し、松本、安曇野へ抜けやすくなる。鉄道駅のない青木村にとって道路は重要な交通手段だ。これからの展開に注目していきたい。



丁寧に熱心にお話していただいた



村長と編集部員

### ○北信セメント工場跡地の公園事業

道の駅の隣に新しい公園をつくる事業について、資料も交えて語っていただいた。もし震災が起きたときの防災の役目も担うという。観光の大きな目玉にもなる期待もあり、再来年の完成が楽しみだ。

### ○若者について

若い人の住むところ、働く場を確保する政策を行いたいとのこと。出会いの場作りのため、婚活にも取り組みたいと熱く語っていただいた。若い人も地域活動に参加してほしいと願っているそうだ。

### ○平成青木時報について

村を盛り上げたいという心意気を汲み取り、応援していただいた。広報や議会だよりでは書けないことをカバーし、頑張ってほしいと激励の言葉をいただいた。

集会を開催して村民との対話を大事にしている。「身近な行政をきちんとする」というお言葉が印象的だった。お忙しい中、お時間を割いていただき、ありがとうございました。

平成青木時報を  
応援します  
北村政夫

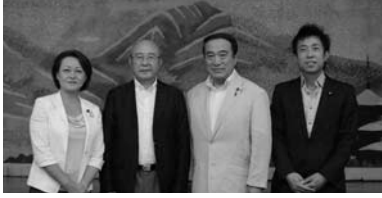
応援いただきました

# 青木若者会議盛大に開催！

グレート☆無茶氏、夢の大切さ熱く語る！



9月15日(日)、文  
 化会館にて編集部主  
 催の「青木若者会議」  
 を行いました。あい  
 にくの雨天でした  
 が、ご来場頂きまし  
 た皆様のおかげで、  
 密度の濃い時間を過  
 ごすことができました。  
 ありがとうございます  
 います。  
 簡単ではありません  
 が、イベントの様  
 子を報告させて頂き  
 ます。



来賓として、長野3区の衆議院議員の皆様が勢ぞろい！寺島義幸様、井出庸生様、木内均様。そして、村長の北村政夫様、県議員の清水純子様。お忙しい中、ありがとうございました。

闘魂注入タイムの様子



## 第1マッチ グレート☆無茶氏による講演会 「夢の叶え方」

上田市出身のグレート無茶氏は、故郷を元気にするため、2007年に信州プロレスリングを旗揚げしました。メンバーは社会人として働く傍ら、エンターテイメントを通して地域を盛り上げようと、各地でプロレス大会などを行っています。

無茶氏は幼少期からプロレスが好きで、テレビ越しに憧れ、将来はこんな大人になりたいと夢見ていました。しかし、大学を経て社会人になり、サラリーマンとして日々の業務をこなす中、だんだん仕事に追い込まれ、目先の利益を追い求める生活になっていました。

支店長というポストを任されたある時、インタビューを受ける機会がありました。「今の夢はなんですか？」「この会社を大きくすることです」。答えてから無茶氏は後悔したそうです。そんな夢ではなかったはずだ、俺はプロレスをやりたい、プロレスでみんなを元気にしたかったんだ、と。

仕事の中に夢があるのではなく、自分の生き方、本当にやりたいことの中に夢があるのだと気づき、独りで信州プロレスを立ち上げました。仕事とプロレス、どちらかにしろと上司に言われて職を辞し、もうプロレスに賭けるしかないという状態になって、急に人生が上手く転がり出したそうです。守りに入って予備がある状態では夢は叶えにくい。やりたいことを絞ればスムーズに物事が動き出すと熱く語ってくれました。

ビックハットで5000人集客した成功例を挙げ、夢は必ず叶うものだと言する無茶氏。批判や否定をする人もいるけれど、自分を信じてやり抜けば、失敗も発見に変わる。子どもに夢を語るなら、まず大人が夢を持ち、ワクワクする心を忘れないことだと教えて頂きました。

真っ直ぐ想いを抱き続けることで、不可能を可能にした無茶氏の飾らない言葉は、じんとな響きました。やりたいことを先延ばしせず今を生きよう。諦めずに夢を追う大切さを改めて実感しました。



### 第2マッチ 「夢妄想バトル」

翌春、編集部が行うイベントの内容が決まらないので、3グループに分かれて案を練ってもらおうというやや強引な企画でした。人手不足の編集部では出てこない斬新な意見が続出。書ききれないので一部抜粋します。

#### 〈Aグループ〉

広い世代が集まるイベント

伝統文化を活かして村外の人も呼ぶ

フラメンコ、映画祭、カラオケ大会、回り舞台体験

#### 〈Bグループ〉

朝昼晩の三本勝負

村外の人に魅力を発信する

朝：プロレス、昼：ダンス、夜：合奏

#### 〈Cグループ〉

祭り・フェスティバル

村への集客、特に親子連れが来やすいように

一日通して多様なイベントを行い、幅広い世代で参加

参加者に共通していたのは「村を盛り上げたい」というひたむきな志でした。一期一会の出会いに感謝したいと思います。

絆をつくるのは難しいけれど、小さな一歩を積み重ねて夢を実現し、若者の力で村を元気づけたい。編集部としても原点にかえるいい機会になりました。

頂いた案を元に構想を練り、3月頃にイベントを行う予定です。どんな内容になるかはお楽しみに！

### アンケート結果

参加者の皆様から頂いたご意見を紹介します。

○青木時報に載せてほしい記事

児童館の活動、ホットステイ、グルメ、思い出話、

若者ならではの意見、「人」に関わること、歴史文化、

夢特集、10年後の私

○青木村の良いところ／悪いところ

自然風景、国宝、人の温もり、育児環境、自立した村、

連帯感、行政が身近、残すべき文化がある、観光資源、

教育、活性化に意欲的、静か、伝統芸能、温泉、パラグライダー、外部交流を受け入れてくれる、義民太鼓

若者が住みにくい、都市化している、過疎、交通の便、

噂話が広まる、考え方が古い、諦めムードがある、

男尊女卑、悪い風習が残っている、現状維持で危機感がない、

経済情勢、店が少ない、丸く収めたがる

今後の活動に役立てていきます。ありがとうございます。次回もよろしくお願いします。



### 青木若者会議にご協賛くださった皆様 (敬略称)

田中屋プラス、伸和印刷、Hiroshiman、ギフトショップ大沢、みどりネットワーク、レインボービルドガレージ、銘菓処さわむら、ふれあいデイサービスうらら、和ダイニングこあ、四季の宿まさき、夢の家、大桂商店、エコズフェス武石、五十嵐鯉節、パールマタン、信州上田屋、つばめの巣、滝沢モーターズ、ジュエリー工房翔、侍学園、杏樹健太郎、滝澤恵一、三井酒造、おみあげ処北村、社会保険労務士法人コーチジャパン、酒の原商店、洋菓子マリアン、おきな菓子舗、信州昆虫資料館、クロスロードあおき、堀内農園、竹内農産、金澤酒店

新聞のご用命は・・・

## 東郷堂

信濃毎日新聞 日刊スポーツ  
朝日新聞 スポーツニッポン  
毎日新聞 日刊工業新聞  
日本経済新聞 週刊上田



青木村の新聞配達は私達が担当しています。

小宮山克子 TEL : 49-2180

増田 久義 TEL : 49-2880

林 真理 TEL : 49-2726



沓掛果樹園

沓掛和敏さん (40)



青木村村松在住。家族で果樹園を営む沓掛さん。首都圏の大学卒業後、青木に戻り、須坂の農業大学校で、果樹を専門的に学ぶ。青木は雨が少なく、寒暖差もあり果樹に適しているとのこと。現在は、葡萄 5 反部と林檎 2 反部を作っている。いろいろな品種を作っていて、葡萄は、巨峰、セネカ、バイオレットウエハラ、ナイアガラなど。林檎は、ふじと信州りんご 3 兄弟の、秋映 (あきばえ)、シナノスイート、シナノゴールドを作っている。ジャム、ジュースといった、果樹の加工も行なっていて、今後さらに加工に力を注ぎたいと、語っていただいた。

また、今年度の青木村消防団団長を務められている。

葡萄をいただきながら、お話を伺ったが、甘くともおいしかった。最後にやりがいの瞬間を聞くと「やはり、お客さんに美味しかったと喜んでもらったとき」とのこと。真摯な果樹作りが、おいしい葡萄や林檎を作り出していると感じた。(山浦)

ブドウ・リンゴ・米・各種加工品 あります



10月末までブドウ販売中

巨峰	10月末迄	ゴルビー	10月中旬迄
大王露	10月中旬迄	改良林檎	10月上旬から
ルビー・オキマ	10月中旬から		

お気軽にお問合せ下さい

〒386-1602 長野県小県郡青木村大字村松1822番地  
Tel/Fax (0268) 49-2808  
E-Mail kutsukaju-en@chokubai-aoki.skr.jp

くつかけ果樹園

**イベント情報**  
 ○第31回全国親の会上田城下町大会  
 子育てが上手くいかなくてイライラしてしまうお母さん。不登校やひきこもり・ニート・非行・摂食障害などのお子さんを持つ親御さん。母親としてのあり方を勉強されたい方、ご一緒に問題を考えませんか?  
 日時：10月13日(日) 10時半～16時15分  
 第一部 体験談と質疑応答  
 第二部 自律訓練法とグループディスプレイセッション  
 会場：上田市文化センター  
 参加費：無料  
 講師：金盛浦子(東京心理教育研究所所長) 石川泰(東京心理教育研究所臨床心理士)  
 定員：300名 申し込み制 保育あり(第1部のみ定員あり)  
 主催：NPO法人SEPY倶楽部 03-3942-5006  
 子どもの問題を考える会長野090-1422-0256

前号の郷土美術館の入館料の一部を、誤って団体に料金で掲載しました。訂正してお詫びします。

平成青木時報編集部 代表 山浦和徳  
 電話 090-2308-8270  
 メール [aokijiho@gmail.com](mailto:aokijiho@gmail.com)  
 HP <http://doro100sho.jimdo.com/>  
 FB <https://www.facebook.com/aokijiho>  
 Twitter @aokijiho

平成青木時報は青年グループ「泥百笑」が、平成25年度長野県地域発元気づくり支援金を活用させていただき、制作しております。

○信州昆虫資料館10周年ありがとうコンサート☆  
 日時：10月20日(日) 13時～  
 昆虫資料館も10年目を迎えることができました。恒例の丸川尚子☆コルナ知子による、楽しい演奏会を開催します。お誘いあわせでお出掛けください。  
 参加費：入館料とコンサート込みで500円、中学生以下無料  
 問い合わせ：信州昆虫資料館  
 0268-3713988